

わが社の ダイバーシティ グローバル 人財育成プログラム！

No. 15

株式会社荏原製作所
人事統括部 人財戦略部 人事ガバナンス推進課
林 光恵

GCDP (Global Career Development Program)

当社は長期ビジョン「E-Vision 2030」のもと、将来のGKP（グローバルキーポジション）を担う人財の育成を見据えながら、荏原グループ全体でグローバル人財の育成に取り組んでいます。その一環として2023年に始動したGCDP (Global Career Development Program) は、荏原グループ各社の社員が国や部門を越えた海外実務経験を通じて、自身のキャリアアップを目指し主体的に挑戦できる2年間のグローバル人財育成プログラムです。

現在、プログラム開始から2年が経過し、第一期生である23名は順次帰国。それぞれの部署で新たなステージに臨んでいます。本誌では、プログラムを修了したメンバーへのインタビューを通じて、2年間の経験が将来のキャリア形成にどのような影響を与えていたのかを紹介します。

① GCDPにチャレンジしようと思ったきっかけは？

国際的な溶接基準や規格について学び、工場や現場での製品品質を向上させることで、自分の力で会社に貢献したいと考えたためです。

② 帰任後GCDPでの経験が、現在の業務やチームにどのように活かされているか？

帰任直後に、在籍するグループで生産革新活動がスタートしました。日本の研修で得た経験を活かし、検査工程の最適化に向けた改善案を提案。他部門と連携しながら、チームと共にその推進に取り組んでいます。

③ GCDPでの2年間の経験を通じて、自身の将来像にどのような変化があったか？

研修前はキャリアの方向性について明確なイメージを持っていなかったが、日本で先輩から「モノづくりはヒトづくり」という教えを受け、自分自身が「人間関係の改善」に貢献する役割を担っていると実感するようになりました。

④ 2年間と限られたプログラム期間で何を意識して取り組んできたか？

常に相手の立場に立ち、彼らのニーズや意見に耳を傾け、適切なサポートや配慮を行うことの重要性を意識して取り組みました。

⑤ その経験を活かしてどのように事業に貢献していくと考えているか？

現場の第一線に身を置き、共に働く仲間たちの現実や苦労、努力を肌で感じながら共有したいと考えています。



劉歡 (Liu Huan)

荏原環境工程(中国)有限公司

2023年1月から、荏原環境プラント株式会社に2年間出向、2024年12月末に中国の荏原環境工程(中国)有限公司に帰任。

命令や指示ではなく、自ら率先して行動し、対話を通じて周囲を巻き込み、啓発していくことで、事業に貢献していきたいと思います。

⑥ 赴任期間中、資格取得に向けた勉強方法やコツは？

専門書を読み込み、試験対策の問題集を繰り返し練習する、この方法が一番だと思いました。

⑦ 最後に、GCDPを通じて得られた気づきや、このプログラムの魅力についてお聞かせください。

日本の先進的な管理ノウハウを体系的に学び、職人精神を肌で体感できる貴重な経験が得られると思います。また帰任後も継続して技術的な相談や情報共有ができる、心強いグローバルネットワークを築くことができます。

① GCDPにチャレンジしようと思ったきっかけは？

荏原環境工程（中国）有限公司と荏原環境プラント株式会社の1年間の研修プログラムに参加した先輩の姿を見て、自分自身もキャリアアップのためにGCDPへの参加を希望しました。

② 帰任後GCDPでの経験が、現在の業務やチームにどのように活かされているか？

海外赴任を通じて、視野が広がりました。日本と中国、それぞれ仕事の進め方に強みがあり、それらを組み合わせて活用していきたいと考えています。例えば日本ではAI開発が進んでいることに感心しました。日本の従業員が自発的に業務効率化のためにAIを活用しており、今は周囲のメンバーにも、業務の一部にAIを取り入れることを勧めています。また専門分野では、赴任先で日本の先輩方から指導を受けたことで、溶接や品質問題に対する理解が深まっただけでなく、課題解決の視点にも変化がありました。さらに現場作業における安全への取り組みも印象的でした。日本の現場では、指差し呼称確認や熱中症対策、安全用具の使用方法においても安全意識の高さを感じました。現在は現場作業時には、自分から積極的に安全意識を発信しています。「安全第一」が基本！

③ GCDPでの2年間の経験を通じて、自身の将来像にどのような変化があったか？

海外赴任を経験したことでの、以前よりも少し落ち着いて物事に取り組めるようになったと感じています。これからは、若い従業員にとって頼りがいのある先輩でありたいと思っています。また、他部署とのコミュニケーションが多いため、「あの人なら頼れる」と思ってもらえる存在を目指したいと思います。

④ 2年間と限られたプログラム期間で何を意識して取り組んできたか？

多くのことを学びましたが、一番大切にしていたのは「自分自身の判断力」です。実際に海外生活を体験し、現地の同僚（GCDP同期）との会話を通して、これまでの考え方にも影響を受けました。事実を自分自身で考え、判断し、それを自分の価値観や行動に反映させていくことが重要だと感じました。2年間のGCDP経験は、自分の人生に深く影響を与えたと実感しています。



孙煜 (Sun Yu)

荏原環境工程（中国）有限公司

2023年1月から、荏原環境プラント株式会社に2年間出向、2024年12月末に中国の荏原環境工程（中国）有限公司に帰任。

⑤ その経験を活かしてどのように事業に貢献していくと考えているか？

慣習で仕事を進めるのではなく、新しい視点で物事を考えないと、企業や仕事の改善は難しいと感じています。経験は大事だが、常に「もっと良くできる方法があるか？」という意識を持って取り組みたいです。少しでも荏原環境工程（中国）有限公司に貢献できるよう、自分の力を活かしていきたいと思います。

⑥ 赴任期間中、資格取得に向けた勉強方法やコツは？

先輩や資格を取得した同僚に、効果的な勉強方法を教えてもらい、それを参考にして学習計画を立案。あとは計画通りに全力で取り組み、結果は神様にお任せする気持ちで頑張りました。

⑦ 最後に、GCDPを通じて得られた気づきや、このプログラムの魅力についてお聞かせください。

若いうちにいっぱいチャレンジすることが大事だと知りました。GCDPに参加できて本当に良かったと思っています。これまで知らなかった知識や、海外での働き方、異文化に触れ、新しい環境で友人もでき、内面的にも鍛えられました。最近、中国で「人生は果てない荒野だ」という言葉が流行っていますが、そのとおりです。人生は広大な荒野のようなものですが、思いがけない収穫がきっとあるはずだと実感しました。